

とめよう戦争への道！百万人署名運動

千葉県連絡会通信 web 版

2010年

10月号

改憲・戦争と民営化・労組破壊にたち向かう労働者の国際的団結を！

10・10から10・20-11・7へ！

(三里塚全国総決起集会)

(幕引きの秋 裁判員制度反対集会)

(全国労働者総決起集会)

9月14日、民主党代表選挙で再選された菅政権は、財政危機を口実として、公務員労働者への全面的攻撃を行なおうとしています。360万人の公務員労働者を一旦解雇し、民営化した事業所等に選別再雇用するという究極の民営化・労組破壊攻撃が始まろうとしています。それと一体で、沖縄米軍基地と日米安保体制の強化、改憲と戦争に向けた政治反動が進み、国家主義や排外主義が煽りたてられています。

しかし、沖縄では基地撤去に向けた怒りの声が燃え上がっています。変質と屈服を深める既成の労働組合の支配に抗して現場からの怒りの声が噴出し、労働運動の新しい潮流が生まれ出ようとしています。6月13日、労働運動の階級的再生と創造をかけた壮大な挑戦が始まりました。国鉄全国運動を推進しましょう。

これら一切の攻防を決するものとして、11・7労働者集会が呼びかけられています。10・10三里塚全国総決起集会→10・20幕引きのとき裁判員制度反対集会→11・7労働者集会へ結集しましょう。

1) たくさんのお礼ありがとうございます

6人の方から85筆、T教会から25筆、K教会から10筆の計120筆も寄せられました。おかげさまで、今月は329筆も増えました。

まだの方は、ご自分の1筆だけでもぜひお送りください。

毎週行っている街頭署名に先頭で参加しているRさんが、次のように署名行動の感想を寄せてくださいました。

8月29日(日)の千葉・吉野家前での街宣署名は、当通信9月号の発送日と重なったこともあって、参加者2名で約2時間がんばりました。ところが、この日の結果は沖縄署名と裁判員署名が各1筆、合計2筆という、おそらく街宣を始めて以来の惨憺たる結果に終わってしまいました。確かに残暑も厳しく、また風もやや強かったという状況ではありましたが、とにかく反応が悪い。話しかけて「脈ありかな」と思った人も、信号が変わると先を急がれてしまうといった感じで、どうあがいても署名に結びつかなかったのがこの日の街宣でした。

対して9月5日(日)は参加者3名で、沖縄81筆、裁判員2筆の計83筆と、前週からの「V字回復」を果たすことに成功しました。市民の反応振りも打って変わり、中高生のグループなどがよく署名に応じてくれました。

この署名数の差には目をみはるばかりですが、気象コンディションや通行する市民の年齢層(29日は中高生の姿が確かに少なかった)、あるいは私たちの訴え方の一言一言など、ほんのちょっとした要素の違いが、署名数にビビッドに反映してくるものです。街宣署名に立つことで、いろいろな意味での「生きた感覚」を肌で感じることができる、とも言えましょう。私たちはその時々々の状況に応じながら、少しでも署名を多くいただけるよう、今後も工夫をこらしていきたいと思えます。(R)

2) 千葉会計報告(10年6月～10年8月)

(省略)

ヒロシマカンパありがとうございました。上記のように使わせていただきました。

3)署名数 9/19 現在

▼沖縄基地と改憲反対 1,620筆(+329)

▼裁判員制度反対 1,890筆 ▼星野さん再審・釈放
962筆 ▼児ポ法改悪反対 30筆

4)街頭宣伝署名(8/22~9/19)

日時	場所	人数	沖縄	裁判員	星野	ピラ
計	6回	34	209	17	75	1660

5)9.13千葉地裁前街宣おもしろかった

～裁判員候補者から次々に批判の声！！～

千葉県実行委員会は、9月13日、8時から、千葉地裁前で裁判員制度反対の街宣活動を行いました。この日は、**4件の裁判員裁判初日ということもあり、多くの裁判員候補者の生の声を聞くことができました。**「『義務だから絶対出て来い』と言われた」「仕事が忙しくて困る」「断るために来た」「こんな制度いつ出来たのか」と、裁判員制度への批判が次々に出てくる状況で、合計13人の裁判員候補者に意見を聞くことが出来ました。「国民の8割が反対している」ことを実感しました。裁判員制度は絶対に廃止できます。

今後も千葉地裁前での街宣行動に力を入れたいと思います。(参加者から 全国情報誌投稿文より)

6)10月の予定

(省略)

7)9月20日千葉県三里塚集会ー10・10全国集会に千葉から大結集をー

9月20日、「市東さんの農地強奪を許すな！ 9・20千葉県三里塚集会」が行われ、120人が参加しました。

天神峰現闘本部をめぐる攻防では空港会社が狙っていた仮執行＝現闘本部破壊を阻み続けています。団結街道封鎖攻撃に対し、市東孝雄さんの怒りを先頭に闘いぬいています

反対同盟から北原鉦治事務局長、伊藤信晴さん、宮本麻子さんが参加。自らの闘いの経験やエピソードを語り、10・10三里塚全国集会への結集が訴えられました。

動労千葉の田中委員長のあいさつ、三里塚決戦を闘う三里塚現闘と全学連坂野陽平委員長代行、国鉄決戦を闘う動労千葉争議団、動労千葉を支援する会・習志野、婦民全国協千葉支部、千葉・星野文昭さんを取り戻す会、ちば合同労組、医療労働者、千葉労組交流センターが発言しました。

8)9月3日千葉・星野の会で、星野再審学習会

9月3日、千葉・星野文昭さんを取り戻す会で、星野再審学習会を行いました。めったに合わない人も数人駆けつけてくれ、20名の参加でした。星野さんは、沖縄返還に絡む71年の沖縄闘争で殺人罪をでっち上げられ、現在無期懲役で服役を強いられています。しかし、無実です。

参加者の一人から、「自分自身、新しい発見ができて、参加して良かったと思っています」と後日こんな感想の手紙をいただき、うれしくなりました。

星野さんの再審開始の実現、早期釈放に向けて前進していきましょう。(T)